

MG 被災ヒアリングシート

1. 共通基本情報・確認項目（全員対象） 行政手続き・保険・健康

① 罹災証明書（被災証明書）の申請はお済みですか？

☐ はい ☐ いいえ

※支援金、義援金、各種補助金・融資、税金の減免申請に必須と なります。

未申請の場合は自治体（市役所・役場等）の担当窓口をご案内し ます。

② 体調に変化はありませんか？（発熱・咳・嘔吐・下痢・皮膚の荒れなど）

☐ はい ☐ いいえ

※洪水・泥水やカビに起因する感染症等のリスクがあります。

症状 がある場合は医療機関への受診を勧めるとともに、保健所や市役所へご相談 ください。

③ 住宅の応急修理制度（災害救助法）についてご存じですか？

☐ はい ☐ いいえ

※日常生活に不可欠な最小限の修理（屋根、床、ドア、トイレ等） に対し、自治体経由で一定額（例：床上浸水等の条件あり、定額上限あり） 支援を受けることが可能です。

着工前の相談が必要ですので自治体窓口をご 確認ください。

④ 火災保険（水災補償）や共済の加入状況・適用範囲を確認されましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※浸水深や損害割合によって支払対象になるか確認が必要です。片 付けや解体を進める前に、

被災状況の写真（外観、部屋ごとの浸水高、損害 物）を十分に撮影・保存 しておくよう伝えます。

2. 建物・衛生共通チェック（全被災住宅・店舗） 構造・設備・環境

⑤ 新築・改修時の施工業者（工務店・ハウスメーカー）へ連絡・相談されました か？

☐ はい ☐ いいえ

※床上・床下問わず、断熱材の吸水や構造体の乾燥不足は建物の耐 久性に影響します。

まずは施工業者への診断依頼を推奨します。

⑥ 床下点検口や床下収納庫から、内部の浸水・汚泥の溜まりを目視確認しました か？

☐ はい ☐ いいえ

※室内が綺麗に見えても床下に水や汚泥が残っているケースが多 く見られます。

そのままにすると腐食やカビの原因になります。

⑦ 室内の臭い（泥臭さ、カビ臭、生ゴミ臭など）や異臭を感じることはあります か？

☐ はい ☐ いいえ

※床下や壁裏に残留した汚水・汚泥、または濡れた断熱材が異臭 の原因となります。

専門業者や工務店による点検・清掃が必要です。

⑧ 窓を閉め切った際、結露しやすくなっていませんか？

☐ はい ☐ いいえ

※壁内部や床下の断熱材・木部が含水していると室内に湿気が充 満します。

⑨ 排水（キッチン、風呂、トイレ、洗面）の流れが悪くなっていませんか？

☐ はい ☐ いいえ

※配管内への土砂・汚泥の詰まりや逆流が疑われます。

無理に流さ ず専門業者等にご相談ください。

⑩ 照明が点滅する、ブレーカーが落ちるなど電気の異常はありませんか？

☐ はい ☐ いいえ

※壁内の配線や機器の漏電が考えられ大変危険です。

点検が済むま で該当回路の使用を控え、電気工事店や工務店へご相談ください。

⑪ 水没・浸水したコンセントやスイッチの交換はお済みですか？

☐ はい ☐ いいえ

※一度水没した電気設備は乾燥しても内部ショートによる火災の 原因となります。

必ず電気工事店による交換が必要です。

⑫ 木部・家具等の清掃・消毒・乾燥処理は行いましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※泥汚れを除去した後の十分な乾燥と、消毒（逆性石けんやアル コール等）が必要です。

自治体での消毒液配布や消毒対応の有無も確認しま す。

3.床下浸水（浸水深が床面未満）専用チェック

⑬基礎内部（泥や水）の泥出し・乾燥処理・消毒は行いましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※泥が残るとカビや雑菌が繁殖し、消臭・消毒（消石灰や消毒液 等）が効きにくくなります。

泥を取り除いた後に送風機等でしっかり乾燥さ せることが重要です。

⑭ 基礎より上の木材（土台・大引など）の乾燥状態を確認しましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※水分を含んだまま放置すると、腐朽菌の発生やシロアリ被害の 原因になります。

工務店等による水分計を用いた測定を推奨します。

⑮ 外壁の通風口（床下換気口）の目詰まりや損壊はありませんか？

☐ はい ☐ いいえ

※換気口が泥で塞がると床下の湿気が抜けなくなります。清掃と通 気性の確保が必要です。

4. 床上浸水（室内に浸水）専用チェック

⑯ 床材・壁紙・壁内部の断熱材の撤去や点検は行いましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※床上浸水の場合、壁の石膏ボードやグラスウール等の断熱材が 吸水している可能性が非常に高いです。そのままにしておくとも内部でカビが 大量発生するため、壁の下部を剥がして乾燥・張り替えを行う必要があります。

⑰ 大型家電（冷蔵庫、洗濯機、給湯器など）やエアコンの作動確認・安全点検を 行いましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※電源を入れる前に点検が必要です。特にエコキュートや屋外給湯 器、エアコン室外機が水没している場合、基板ショート危険があるため メーカーや販売店での点検が必要です。

⑱ 水害ごみ（廃棄家具、破棄家電、濡れた畳など）の仮置き場・排出方法を確認 しましたか？

☐ はい ☐ いいえ

※自治体ごとに水害ごみの分別ルールや指定収集場所・無料受け 入れ期間が定められています。ルールに沿った搬出をご案内します。

5. 店舗・事業者（事業用店舗・事務所・工場等）専用チェック

⑲ 営業用設備・機械機器・車両などの被災・水没状況を把握されていますか？

☐ はい ☐ いいえ

※機器の復旧可否の診断、リース品の場合はリース会社への不通 連絡・保険確認が必要です。写真記録を徹底していただきます。

⑳ 販売用商品、原材料、備品等の損害整理・廃棄記録はとられていますか？

☐ はい ☐ いいえ

※損害額の算定や税務上の手続（損失処理）、事業者向け支援金 申請のために、破棄する商品のリスト化と写真保持が不可欠です。

㉑ 商工会議所・商工会、中小企業支援窓口（よろず支援拠点など）へのご相談は お済みですか？

☐ はい ☐ いいえ

※確認・提示：小規模事業者持続化補助金（災害支援枠）や、自治体の特別融 資制度、グループ補助金などの事業者向け支援制度が適用できる場合があります。

㉒ 食品や衛生商品を扱う店舗の場合、保健所への確認はお済みですか？

☐ はい ☐ いいえ

※確認・提示：営業再開にあたり、設備消毒や衛生基準の適合について保健所 への事前相談・確認が必要になる場合があります。

現調日 令和8年 月 日（ ）／ 時間

水没高さ

住所

氏名

電話番号

各機関への共有 可 不可

SNS への報告 可 不可

<備考>

現調者氏名 (所属：)